

誇りと自信を持って暮らせるまちに

平成26年度は私にとって、1年を通して市政運営を担う初めての年度です。

今年度は所信表明で申し上げた目標を達成するための道筋を付けていく1年だと考えています。柔軟な発想で新たな課題に対しても議論し、知恵を出し合いながら積極果敢にチャレンジしていきます。

日本経済の状況を見ますと、景気回復のすそ野が広がっている感もします。しかし、消費税率のアップに伴って景気の減速が懸念されるなど先行きは今なお不透明です。西脇市においては、まだまだ景気

回復を実感できる状況にはありません。

民間の発想力とスピード感で

このような中においても、効果的で効率的な行政経営に努め、民間の発想力とスピード感を持ってさまざまな課題解決を図っていきたくと考えています。

市民の皆さんが誇りと自信を持っていきいきと暮らせる、子どもたちや孫たちの世代も安心して暮らせる。そんな西脇市の実現に向けて、全力を注いでまいります。

施政方針表明

3月4日の市議会定例会で、片山象三市長が施政方針を表明しました。施政方針は1年間のまちづくりの基本的な考え方や行政運営の方針、主要事業について示したものです。ここではその概要と新年度予算についてお伝えします。なお、施政方針の全文や予算については市ホームページでも公開していますので、ご覧ください。

■問合せ 企画政策課（市役所内線225）
財政課（市役所内線220）



今年度の重点的取り組み

～「3つの柱」と「環境をキーワードとしたまちづくり」～

①経済の復活

○経済振興アクションプランの策定

農業、商工業、サービス、観光などの産業分野の施策や事業を見直し、効果的な事業展開や連携方策を検討し、「経済振興アクションプラン」としてまとめます。プランでは、「環境」をテーマにした各分野での連携や地域ブランドづくり戦略についても検討します。

○スイーツファクトリー支援事業

観光いちご園に対する新規就農を支援します。芳田地区にいちご用ハウスを設置し、担い手育成を図りつつ、特産品として産地化を目指し、観光や交流の活性化につなげていきます。

②教育の復活

○基礎学力の向上

「生きる力」を育む教育をさらに充実させ、基礎学力向上に向けて学習支援補助員を配置するなど、各学校における取り組みを支援していきます。

○家庭の教育力向上

家庭学習や家庭読書を推進し、家庭教育力の向上につながる啓発や情報発信を充実させます。また、地域の方に学校支援ボランティアとして教育に携わっていただき、ふるさとの伝統や文化に親しむ機会を提供します。

③住みやすさの復活

○防災対策

浸水被害を防ぐために、今年度から地域に応じた形で浸水対策を計画し、河川改修についても引き続き県に要望を行います。

地震対策では、関係機関との連携強化を図ります。また、自主防災組織設立・育成のための補助制度を創設するほか、市民一人ひとりの防災意識の高揚を図り、地域防災力を高めていきます。

○子育て世代に選ばれるまち

安心して妊娠、出産ができる環境づくりを進めるため、特定不妊治療費助成事業と妊婦健康診査助成事業、妊婦歯科検診事業を実施します。また、保育所の保育料を引き下げるとともに、引き続き中学3年生まで通院、入院ともに無料とします。

「環境」をキーワードとしたまちづくり

環境をキーワードとしたまちづくりを進め、西脇のブランド力を高めたいと考えています。播州織のくず糸などのバイオエタノール化の調査研究を進めます。また、電気自動車急速充電設備を道の駅と市役所に設置します。さらに、メガワットクラスの太陽光発電設備を設置するための準備を進めるなど自然エネルギーの積極的な活用を図るほか、小水力発電の可能性も探っていきます。



施政方針を表明する片山象三市長

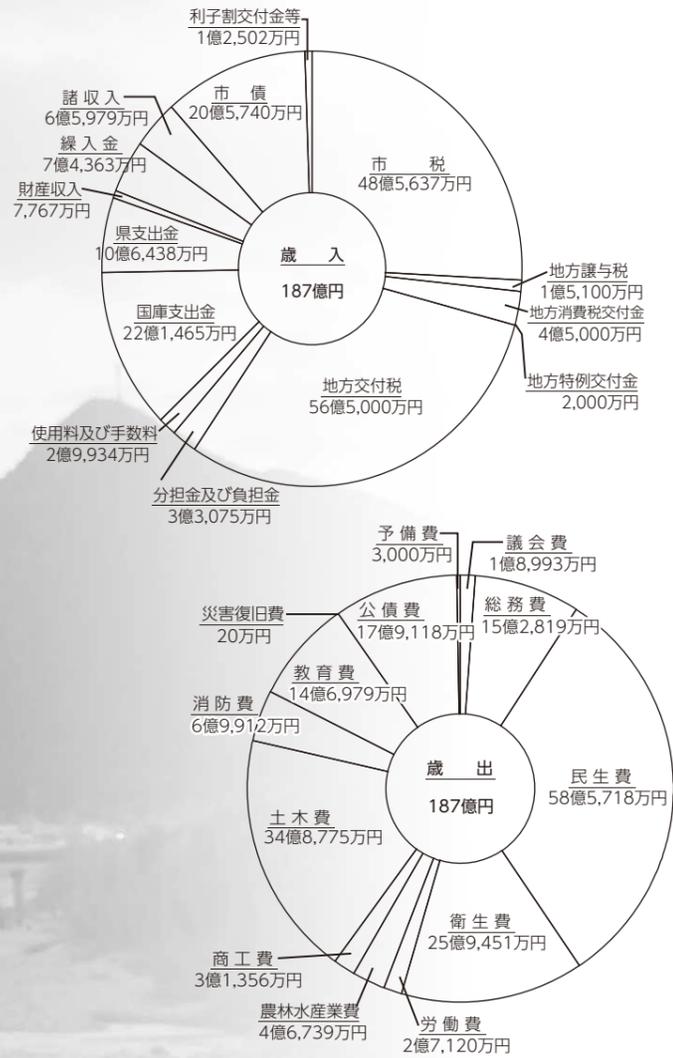
平成26年度当初予算

平成26年度一般会計総額は187億円で、施策の重要性、緊急性を十分考慮しながら「経済の復活」「教育の復活」「住みやすさの復活」の第一歩とするため、堅実な予算編成を行いました。

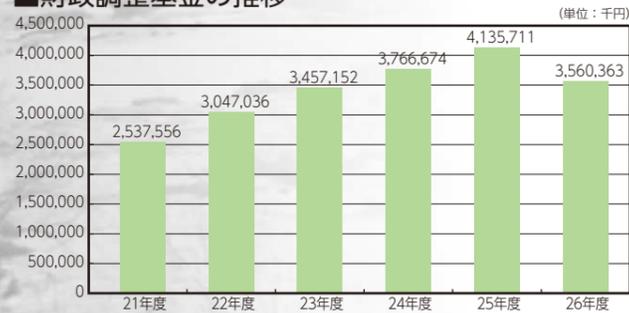
主要施策の概要

- 受診率向上に向けて
 - 特定健診未受診の方へ電話・訪問により受診を勧め、受診率県下第1位を目指します。515万円
- ひとり親家庭の負担軽減
 - 県助成制度対象外の高校生等の医療費を市独自で助成し、ひとり親家庭の経済的負担を軽減します。1,711万円
- 保育料の引き下げ
 - 5歳児を中心に保育料を市立幼稚園並みに引き下げるなど、子育てを支援します。7,375万円
- イチゴを観光資源に
 - イチゴの生産施設を整備し、新たな担い手を育てます。イチゴの特産化を通じて、観光や交流の活性化を図ります。3,000万円
- 経済の活性化・雇用の創出
 - 市内に製造業などの企業施設を新設・拡大した事業者に奨励金を支給し支援します。7,900万円
- 地場産業を活性化
 - 北播磨地場産業開発機構の運営費の助成に加え、新たに播州織の海外展開を目的に人材育成支援等を行います。1,130万円

■一般会計当初予算の構成



■財政調整基金の推移



■市税収入の推移



- 基礎学力の向上
 - 教職員・保護者を対象に基礎学力を上げるための研修を実施し、各校での基礎学力向上の取り組みを充実させます。206万円
- 学習環境の整備
 - 安全・安心な学習環境を提供するため、引き続き学校施設を整備します。6,987万円
- 図書館の本を充実
 - 図書を充実させて図書館利用者を増やし、利用者数・貸出数の増を目指します。3,095万円

- テラ・ドームを改修
 - にしわか経緯度地球科学館開館20周年を機に、常設展示物のリニューアルを行います。3,000万円
- 防災対策を強化
 - 指定避難所表示看板・水位表示の設置や排水ポンプの購入など防災対策を強化します。1,312万円
- 地域防災力を強化
 - 訓練用消火栓を整備します。防災資機材の購入を助成して自主防災組織の活動強化をします。237万円

- 公共交通を便利に
 - 鉄道との連携やコミバス路線の再編など、利用者ニーズや地域の実情に合った交通体系を実現するため、地域公共交通計画を策定します。485万円
- 道路や橋を計画的に補修
 - 老朽化する道路や橋を定期的に点検し、長寿命化修繕計画を策定して計画的な補修を行います。9,500万円
- 西脇エコポイント制度創設
 - 電気代節約や緑のカーテンの実施などにエコポイントを

- 電気自動車の普及
 - 一般の方が利用できる急速充電設備を市役所と道の駅に設置します。公用車として電気自動車を1台導入します。1,459万円
- 市勢要覧を新しく
 - 西脇市の概要、見どころ、統計資料等をまとめた市勢要覧を発行し、西脇市をPRします。380万円

■平成26年度各会計の予算額

(単位 千円、%)

会計名	平成26年度 予算額	平成25年度 予算額	比較	
			増減額	増減率
一般会計	18,700,000	18,910,000	△ 210,000	△ 1.1
特別会計合計	10,804,977	10,886,867	△ 81,890	△ 0.8
国民健康保険特別会計	5,292,164	5,399,532	△ 107,368	△ 2.0
学校給食センター特別会計	333,887	348,528	△ 14,641	△ 4.2
老人保健施設特別会計	470,335	460,507	9,828	2.1
公営墓地特別会計	6,929	9,932	△ 3,003	△ 30.2
介護保険特別会計	4,157,315	3,918,431	238,884	6.1
茜が丘宅地供給事業特別会計	33,922	265,991	△ 232,069	△ 87.2
後期高齢者医療特別会計	510,425	483,946	26,479	5.5
企業会計合計	18,512,133	14,063,491	4,448,642	31.6
水道事業会計	2,638,119	2,014,351	623,768	31.0
簡易水道事業会計	586,743	46,796	539,947	1,153.8
下水道事業会計	4,496,785	3,223,550	1,273,235	39.5
病院事業会計	10,790,486	8,778,794	2,011,692	22.9
総合計	48,017,110	43,860,358	4,156,752	9.5